



神代小学校のメイン花壇。



ヒマワリロードをジョギング。プランター栽培の世話を子どもたち。

9月11日、平成29年度秋田県学校関係緑化コンクール「学校環境緑化の部」で、神代小学校が最高賞の秋田県知事賞(全国コンクール推薦)を受賞しました。このコンクールは、花壇コンクールとは違い、環境管理、花壇・菜園活動、緑化教育、児童の活動等が実態調査および書類審査を経て総合的に評価されるものです。各学年、縦割りグループ、環境美化委員会、職員が色々な仕事を分担し、花壇やプランター栽培に力を入れて世話をしてきた努力が、栄えある受賞につながりました。

今回の受賞を受けて井上一彦校長は「本校の教育活動の評価を全県一と認めていただいて、大変うれしく思う。花のいのちを育む学園として、この環境を維持し、豊かな心を育む教育活動にいかしていきたい」と話していました。

## 秋田県学校関係緑化コンクール 神代小が秋田県知事賞受賞

自慢の歌声高らかに

## 第32回生保内節全国大会

9月23日・24日の両日にわたり「第32回生保内節全国大会」が仙北市民会館で行われました。一般の部には119人がエントリーし、23日の予選、24日の準決勝を経て10人が決勝に進みました。その結果、最優秀賞に輝いたのは、高校2年生の高橋真理香さん(男鹿市)。高橋さんは小学3年生から民謡を習い、初めて出場したのが生保内節全国大会といえます。「自分の歌を通じて、同世代の人たちに民謡の魅力を伝えていきたい」と受賞を喜びました。また、年少者の部(中学生以下)の最優秀賞には、中学1年生の田口亜澄さん(湯上市)が選ばれました。他の入賞者は以下のとおりです。《敬称略》



一般の部で最優秀賞に輝いた高橋真理香さん。

【一般の部】  
優秀賞：田村和子(仙北市)、倉田珠衣(大仙市)、成田義道(鹿角市)、地主和希(仙北市)  
敢闘賞：中村清治(美郷町)、大川あけみ(秋田市)、佐川隆雄(仙北市)、小松博美(仙北市)、高橋久吉(仙北市)  
【年少者の部】  
優秀賞：谷川未采(八郎潟町)、伊藤泉美(男鹿市)、藤井彩花(男鹿市)



年少者の部で最優秀賞に輝いた田口亜澄さん。

### 第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会秋田県予選会

## 藤井優矢君(神代中3年)が優勝

9月2日、鹿角市運動公園で行われた「第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会秋田県予選会」のジャベリックスロー男子の部で神代中学校3年の藤井優矢君が優勝し、本大会の出場権を獲得しました。神代中学校の選手は3年連続での出場権獲得となりました。なお「第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会」は10月27日から29日の日程で、神奈川県横浜市日産スタジアムで行われます。



左から順に神代中学校の小林高太郎校長、陸上競技指導者の小松満教諭、藤井優矢君、熊谷徹教育長。

### 仙北連合猟友会が大活躍 第12回安全狩猟全県ライフル射撃大会

9月17日、能代市北部シーサイドライフル射撃場で「第12回安全狩猟全県ライフル射撃大会」が開催され、県内8組の連合猟友会が銃器の操作技術などを競い合いました。

3組目での出場した仙北連合猟友会は、団体の部で3連覇を達成したほか、個人の部では伊澤芳郎さん(角館町外ノ山)が優勝、浅利忠一さん(西木町松木内)が準優勝と大活躍しました。



団体の部で優勝した仙北連合猟友会の皆さん。左から佐藤昭正さん、伊澤芳郎さん、浅利忠一さん。

## リコー&AZAPA 自動運転実証実験を開始

9月19日、株式会社リコー(東京都)とAZAPA株式会社(愛知県)が、あきた芸術村森林工芸館駐車場で自動運転のデモ走行を行いました。昨年11月に田沢湖畔で実施された無人運転バスの実証実験とは違い、今回の実験は運転手が乗車しながら緊急時には手動に切り替わるもので、わらび座周辺の公道走行や、雪道での走行実験を予定しています。今後、仙北市を拠点とした近未来技術の発展が期待されます。



株式会社リコーの松浦専務執行役員 門脇市長、株式会社わらび座の山川社長、AZAPA株式会社社長の近藤社長(右から順)。



実験車両の電気自動車BMW i3

## 心の健康と大切な命を呼びかける

傾聴ボランティアえくぼの会と市職員が「9月10日世界自殺予防デー」、9月10日から16日までの自殺予防週間にちなみ、9月27日にタカヤナギワンダーモール店、ビブレ田沢湖店、よねや角館店の協力を得て「おとうちゃん眠れている?」と印字されたトイレトペーパー、リーフレットなどを配布し、心の健康と自殺予防を呼びかけました。

## 楽しい給食の時間 白岩舞茸の美味しさ味わう



松木内小学校では「舞茸入りの中華スープ」が提供され、子どもたちは秋の味覚を堪能していました。

このほど、白岩地域運営体(菅原秀俊会長)の事業で栽培した「原舞茸」が、市内全域の学校給食で振る舞われました。同運営体の栽培事業は今年で5年目を迎え、一昨年から学校給食で提供されています。9月28日には角館地区で、10月3日には田沢湖・西木地区の小学校で、それぞれオリジナルの献立メニューで舞茸が提供され、味わたった子どもたちからは「美味しい」と大好評でした。



タカヤナギワンダーモール店で、次々と訪れる買い物客に、心の健康と自殺予防について呼びかけました。





### 3D連携フォーラム in 角館

9月29日、広域でインバウンド（訪日外国人客）の誘致を目指す函館市、大館市、小坂町、仙北市の首長などが国内外旅行の新機軸について意見を交わすフォーラムが角館温泉花葉館で開催され、観光関係者など約80人が参加しました。工藤壽樹函館市長の基

調講演に続き行われたパネルディスカッションでは、門脇市長が首都圏の人に農業体験や収穫した農作物を食べてもらう『通農』というアイデアを披露。「新たな移住対策や3D連携を活かした観光振興につながる取り組みを検討していきたい」と話しました。



暗闇の中、ランナーたちは角館交流センター前を一斉スタート。

## 100キロチャレンジマラソン

過酷な道のりに挑む

9月24日、角館町から北秋田市鷹巣までを走破する「2017北緯40度秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン」が開催されました。100キロの部には県内外から1020人がエントリーし、角館交流センター前を午前4時30分にスタートしました。また、320人がエントリーした50キロの部は、北秋田市阿仁農村環境改善センター近くを10時30分にスタートし、北秋田市鷹巣のゴールを目指しました。自分のペースを刻みながら力走するランナーたちに、沿道の住民は「頑張って！」「フアイト！」などの温かい声援を送っていました。



国道105号を力走し、鷹巣のゴールを目指しました。



連携協定を結び握手する吉田社長（右）と小上社長（左）。

### 内陸線と道南いさりび鉄道 鉄道観光友好協定

9月29日、秋田内陸縦貫鉄道と道南いさりび鉄道（函館市）が鉄道観光友好の協定を締結しました。

角館温泉花葉館で行われた調印式には秋田内陸縦貫鉄道の吉田裕幸社長と道南いさりび鉄道の小上一郎社長が出席し、協定書に署名しました。協定は両鉄道の交流を推進し、地域経済の成長と発展に寄与するという内容で、旅行商品の企画などで連携を目指します。協定調印後、吉田社長は「外から人を呼び込むには広域連携は必要であり、実りある協定にしたい」、小上社長は「道内の関係自治体に連携の盛り上がりを伝えたい」と話しました。

### 新角館庁舎建設に係る基本設計業務受託者の選定が始まりました

10月2日、秋田県立大学本荘キャンパスで、田町山に建設される「新角館庁舎」の基本設計業務（上限業務費 税込13,870千円）の受託者を選定するための第1回公募型プロポーザル選定委員会が開催されました。第1回選定委員会では、5人の選定委員により募集要件や選定要領などの審査が行われ、10月10日に公募型プロポーザル方式による入札公告が行われる予定です。

#### 【選定委員】

- ◆ 秋田県立大学 建築環境システム学科 教授 小林淳（委員長）
- ◆ 秋田県立大学 建築環境システム学科 教授 長谷川兼一
- ◆ 秋田県建設部 営繕課 課長 池田広志
- ◆ 仙北市副市長 倉橋典夫
- ◆ 仙北市建設部長 武藤義彦

○今後のスケジュール（予定）  
基本設計業務 ～平成30年3月  
実施設計業務 ～平成30年10月  
建設工事の開始 平成31年3月～  
新庁舎の供用開始 平成32年9月～



建設予定地（田町山）

### 第4回秋田25市町村対抗駅伝 ふるさとあきたラン！男鹿大会



10月1日、男鹿市の男鹿総合運動公園を会場に、男鹿市の特設コース（9区間、31.0km）を走る「第4回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！男鹿大会」が開催されました。

この大会は、県内全市町村が一堂に会し、市町村の代表選手によるチームで競い合うもので、今年で4回目の開催となりました。

仙北市選抜チームは、総合第9位（出場34チーム）、市の部門で第6位入賞の成績を収めることができました。

たくさんの応援をいただき、ありがとうございました。

仙北市のメンバーはチーム一丸となり、たすきをつないで力走しました！